

進路指導室から 第326号

「合格者体験記」について

今回は、「各教科の学習方法」についてです。国語・数学・英語の3教科についてまとめました。自らの課題を明らかにし、その克服のために具体的に取り組んでいることが特徴的です。参考にしてもらえればと思います。

■ 北海道大学総合系合格〔理型：器楽部〕

◆ 国語

共通テスト本番で失敗して半分しかなかったのが、僕自身学習方法を知りたいのですが、「どうして失敗したか」「何をすれば良かったか」を書きたいと思います。まず、「どうして失敗したか」についてですが、古文を読む時間が10分ちょっとしかなく、飛ばし読みをしてしまい、10点/50点しかなかったことが大きいです。普段ならすべて解いてピッタリ終わるくらいだったので、もっと余裕をもって終わるように練習しておくべきでした。また、漢文はしっかり対策すれば満点を狙えるはずだったのに、つめが甘くそのレベルまで行くことができませんでした。次に、「何をすれば良かったか」についてですが、「共通テスト対策だけでいい」と考えるのではなく、二次試験レベルの問題も解いてみたら随分と変わっていたと思います。何事にも少し難しいと思うことをやれば、それ以前にやったことが簡単に感じるかもしれないからです。あと、苦手でも苦手意識をもたないことも大切だと思います。

◆ 数学

週課題で30問以上解いてきたのですが、簡単な問題や計算だけの問題を選ぶのではなく、本当に自分の思考能力を鍛えることのできる問題を取り入れれば良かったと、少し後悔しています。実際、入試問題を解いてみると、ただの計算問題はほとんど出題されず、どのように手をつければいいのかを考えさせる問題に圧倒されました。しかし、2年生の時の先生の授業を通して「本質」をとらえる力を養ってきたので、入試本番では落ち着いて解くことができました。基町の先生方は数学的な見方を教えてくださるので、問題を解くのが楽しかったです。また、二次対策を徹底して行っておけば、共通テストはあまり対策しなくても良いと思います。理型で数学がまったくできないのは致命傷になりやすいので、コツコツ基礎力と「本質」を見る目を養っていきましょう。

◆ 英語

僕は中学校まで英語が少し苦手だったのですが、基町の授業と週課題のおかげで、安定して得点できるようになりました。特に、日本語とは違う英語の感覚を教わることで、英作文が書きやすくなりました。また、シス単の小テストが好きになった人はほとんどいないと思うのですが、その効果は英文を読む中で生きてくるので、コツコツ週3～4回頑張ると良いと思います。また、リスニングは週課題を徹底的にやって英語の耳をつくっていくことで、共通テストのリスニングは大丈夫だと思います。今年度の共通テストは模試でやってきた予想問題とは大きく変わっていたのですが、「求められていることは変わらないはずだ」と信じ、どのようにアプローチしていくかを冷静に考えることで、自己最高点をとることができました。

■ 京都大学工学部工業化学科合格〔理型：化学部〕

◆ 国語

理系であっても、決しておろそかにしてはいけない教科です。1・2年生のときは週課題を中心として基礎力をつけましょう。私は学校で配付された教材のみに取り組みました。「さくらさく古文単語」及び「漢文必携」は小テスト毎に覚えきっておくと3年生の時に助かります。学校で配られる「現代文単語」は、単語リストの部分だけでなく、各章はじめにあるコラムに目を通すと、哲学における論点の歴史的発展が大まかに分かります。私は実際本番の英語長文において、現代文単語帳で得た教養から訳語を導き出せました。また、理型でも二次試験で国語が課せられる大学を志望する人は添削指導を必ず受けるべきだと思います。記述を自己採点するのは困難です。私も、添削指導で記述力を鍛えていただきました。

◆ 数学

私は理型ですが、数学は得意ではありませんでした。数学が苦手だという人も、最後まで、当日まで諦めないでください。私は二次本番の数学が、今までの最高の出来でした。基本的なこと、本質的な事項を丁寧に学べば、最後に努力は報われます。実際の学習方法としては、「チャート・サクシード対応表」に沿って毎日の授業を復習しておくことが基礎となります。また、実戦力として、「一対一対応の演習」を長期休暇を利用して2周しました。分野別対策で3年の春休みに「マスターオブ整数」、夏休みに「微積分基礎の極意」に1周だけ取り組みましたが、当時の私にとっては難しく、1周ではあまり吸収できませんでした。難しい問題ばかりしようと焦らず、もう少し後になってから始めればよかったと思います。先生とよく相談し、適時適問で学

習しましょう。

◆ 英語

英語は得意科目でした。単語については、シス単を小テストの度に例文まで暗記しました。「鉄壁」に計画的に取り組みました。似た意味の単語がまとめてあり、イラストも豊富なので整理して記憶しやすい単語帳です。長文については、「英語読解の透視図」に取り組みました。古めの参考書ですが、京大の硬派な長文を読みこなすために特殊構文を見抜く力がつきました。英作文については、学校配付の「write to the point」を中心に学習しました。京大の和訳英文は、「問題文の難解な日本語」→「簡単な日本語」→「自信のある典型長文」と2段階で訳すのがpointです。

■ 大阪大学外国語学部外国語学科（朝鮮語）合格〔文型：弓道部〕

◆ 国語

古典は、1・2年生頑張りが3年生になっての伸びを決めると思います。特に文法と単語はおろそかにせず、きっちりと覚える必要があります。文学史が出題される大学を目指す場合は解説の出典を見て、解説をよく読んで、大体どんな話なのか、作者は誰なのかを確認すると良いと思います。分からない単語があった時にはルーズリーフなどに書き出して時間がある時に何度も目を通すと自然に覚えます。現代文は、漢字でおどさないこと、解答比較をすることが大事です。解答の要素がどこなのか、自分の解答と合っているのかを丁寧に確認することが大切だと思います。

◆ 数学

数学は、基本問題や頻出問題はできるようになるまで何度も繰り返し解き直しました。マーク問題は、前の問題とつながっているので最初が肝心です。共通テストにかかわってからは、身近なものと結びつけて出題されるので、共通テスト対策の問題集を解いて、その形式に慣れることが必要だと思います。苦手なところをそのまま放置せずに、1問でも多くの問題を解いて苦手なところをつぶしてください。マークの速さを求められるので、すばやく正確に計算できるようにすることが大事だと思います。

◆ 英語

マーク対策はとにかく“速く、正確に”が大切です。単語が1つ分からなくても気にせず、進むことが大切です。文脈や前後のつながりでなんとなく推測することが可能なものが多いです。記述対策は、分からない単語と訳し方をルーズリーフにまとめておくと良いです。1つの簡単な単語でも、どのように訳すのか迷うときがあります。また、「individual」の1つの単語でも、人の場合は「個人」、動物の場合は「個体」と訳し分けることで減点を減らすことができます。ぜひ訳し方を研究してみてください。リスニングは、できれば毎日、CDを聞くことが良いです。また、シャドーイングといって、CDを流しながら少し遅れて自分が発音することで内容の理解につながります。

■ 神戸大学法学部法律学科合格〔文型：器楽部〕

◆ 国語

共通テストも二次試験も、大事なのは文法を正しく理解したり、単語のいろいろな意味を覚えることだと思います。単語に関して、単語帳は2年生～3年生の夏までには内容をしっかり頭に入れたうえで繰り返す（模試の前にパラパラと意味を確認できるように）ことが大事かなと思います。それでも、秋以降に演習をしていくなかで、単語帳に載っていないけど、よく出てくる単語や何度も間違える単語も出てきたので、ルーズリーフに意味と一緒に書きとめ、いつでも見返せるようにしていました。あと、古文常識をある程度理解しておく説明に役立ちます。漢文必携は一度、漢字の順番を意識しながら熟読すると力がつくと思います。（二次試験前にもっと早くにやっておけばと後悔しました）二次試験の現代文については、大学の過去問に多く解き、感覚を掴みました。自分が納得のいかない問題は、先生にお願いして一緒に考えていただきました。

◆ 数学

共通テストの数学はなかなか点数がとれずに苦労しました。共通テスト対策を始めたのが12月からで、間に合うか不安でしたが、問題集を最低2回解いたり、できなかった分野をチャートで確認したり、専用のノートを作って、できなかった問題の解法やいつも忘れてしまう公式を書き留めました。そのノートを本番直前に見直すと、これだけやったんだからできると自信をつけることができました。時間配分を考えるのがとても重要です。速く正確に計算する練習も必要です。神戸大学の二次試験は、毎年出る分野が決まっていたので、その分野ばかり演習していました。しかし、試験で出されたのはまったく別の分野で証明問題ばかりで焦ってしまい、恐らく半分もとれませんでした。過去問が毎年似ていても、苦手な分野はなくしておくべきだと感じました。でも、実際に傾向が変わるとできないのは皆同じなので、諦めずにできそうなところに挑戦するのが大事だと思います。

◆ 英語

12月まで二次試験対策をしていました。単語帳を何度も繰り返して長文が読めるように練習しました。授業

も大事にすべきです。文法については、旺文社の基礎英文問題精講がおすすめです。一周目が実際にノートに全訳、二・三周目は軽く読んで確認していました。速読にもつながると思うので共通テスト対策にもなりました。共通テストに関しては、やはり速読が大事で授業中の演習では80分を一気にできないので、冬休みに通して集中力を保てるよう演習するのが良いです。リスニングは、毎日、もしくは2日間に1回など、頻繁に取り組むのが大事で、音読が効果的です。二次試験に関して、英作文は、6～10月に問題集、10、11月、共通テスト後は赤本やオープン模試を先生に添削指導していただきました。自分では気付けない間違いやもっと適切な表現を教えてくださいました。長文には難しい単語が出てくるので、英検準1級の単語帳を使って語彙を増やしたり、最後の1週間は今まで使い慣れたシス単を繰り返したり、ルーズリーフに書き留めていました。

■ 神戸大学文学部人文学科合格〔文型：テニス部〕

◆ 国語

現代文（共通テスト）：読むペースを乱さなければ満点はとれます。選択肢を見る前に自分なりの記述用解答を考えてから、同じニュアンスの答えを選びます。迷ったら句読点ごとにスラッシュを入れて間違いを探します。

現代文（二次試験）：文章量と記述量に慣れるのが一番です。「神戸大の国語」で2004年まで遡って過去問が解けます。秋になるまでに2～3年書いてみて、オープン模試や実戦模試の前に何年か練習しておくといいと思います。最初は制限時間を決めずに全部書いてみて、時間を惜しまず自分の解答と模範解答・本文を照らし合わせて、模範解答の癖をじっくり吸収すると、後々毎日1年分解く時に、答え合わせのサイクルが上手くなりました。私は赤本を買って、青本の解答を資料室でコピーして解答比較（毎年分）していました。コピー料金はかかるけどおすすめです。あとは時々国語の先生に見てもらうのが大事です。

古文（共通テスト・二次試験）：単語と敬語がわかれば何でも読めます。単語は「さくさく」で充分だと思います。黒字の意味は上から細かい付箋を貼ってオレンジペンで書き直すと全部赤シートで隠せるので、手間はかかるけどする価値はあります。読む時は、敬語と文脈で主語を細かく確認して読めばあまり大きく読み外しません。敬語は30個くらいしかないので、3年生になる前に丸暗記（私は敬語の単語カードを作ってシャッフルして覚えました）するべきです。長い会話台詞のあとの地の文（「…と泣かれ給ふ。」なら身分の高い人が悲しい気持ちの時の台詞だと判断する）を先読みする技が結構使えます。

漢文（共通テスト・二次試験）：句形は、疑問・反語が苦手だったので、この2つは全部覚えるつもりで何回も確認しました。他の句形は出てきて覚えていたらじっくり確認する程度でした。「漢文必携」で充分だと思います。

◆ 数学

3年生の夏休みまでに青チャートの例題を全部解いた経験があれば、共通テストも二次試験ももっと楽に演習できていたのになど後悔しています。共通テスト前は数学の優先順位が低かったので、解いた演習のうち覚えていなかったものはチャートに戻って確認する、くらいの対策しかできませんでした。二次試験前は神戸大学で頻出の分野（ベクトル、数列、微積、確率）（今年は何れも出ませんでしたけど…）のチャートを全部解きました。二次試験対策の数学授業（神戸大学・九州大学 etc 対象）は参加して良かったと思います。他大学の過去問は本命の過去問よりも少し気楽に解けるし、でも経験値は上がるので、かなり自信ができました。

◆ 英語

リーディング（共通テスト）：選択肢は文章がかわるたびに先読みしていました。大問4・5・6は特に、問われる内容を先に知っていると、長文の中でじっくり読みたい箇所とニュアンスだけ読み取ればよい箇所が何となくわかるので効率が良くなります。読む順番の好みは人それぞれですが、私は1から順に読んで、読むスピードが上がってきた頃に後半を解く派でした。前半1・2・3は答えに迷ったら適当にマーク塗って次に進み、全部解ききった後に考え直します。4・5・6の3～5点問題をとれたら高得点に繋がります。

リスニング（共通テスト）：とにかく耳を慣らします。12月～本番の間は、下校中に歩きながら、演習教材の音源を毎日20～30分ずつ聴いていました。（スマホにダウンロードしたり、ブラウザから流したり）あと、私は数字を聴き取るのがとても苦手だったので「lisnum（りすなん）」というアプリを使っていました。お勧めです。

二次試験：「神戸大の英語」を買いました。文章も問題も標準的なのでとにかく何題も解くことがいいと思います。1題20分以内に終わらせたら大丈夫だと思います。単語帳は、4章も多義語を全部覚えれば、私はシス単で充分でした。英作文は英語の先生に添削してもらいました。

■ 広島大学（文型：合唱部）

◆ 国語

古文：3年生になってからは古文単語を中心に勉強しました。「さくらさく古文単語」は収録後数が多く、覚えておくべき意味が漏れなく、しかも簡潔にまとめてあるので、関連語を含むすべての意味を覚えれば、かな

り古文が読めるようになります。ただ、イラストや説明が少ないので、「重要古文単語315」を併用して単語のイメージをつかむようにしていました。

漢文：「漢文必携」の例文を指でなぞりながら音読するようになっていました。こうすることで構文がだんだん自分のものになっていきます。また、白文に返り点をつける問題が苦手でしたが、漢文の構造（漢文必携 P10, 11, 24, 25, 156～160）を理解することで返り点の問題が得意になりました。

現代文：答え合わせをする際、解答は文章のどこを根拠にしているのか、どうしたらそこに注目することができたのかを考えるようになっていました。記述問題の答え合わせを一人で行うことに不安を感じたので、通信教育を利用し、添削指導を受けていました。通信教育は添削指導に特化しているので、採点が非常に丁寧で、的確なアドバイスもしてくれます。（追記：共通テスト対策を始める時は、赤本巻頭の「傾向と対策」を絶対に読んだほうがいいです。）

◆ 数学

私は数学が苦手な簡潔な解説ではなかなか理解できなかったため、ベネッセの緑本や黄本、模試など解答解説が詳しいものを中心に勉強していました。先に挙げた教材は比較的計算途中を省略せずに書いてあり、自分がどこで計算ミスをしたか特定しやすかったです。また、どのような発想がポイントになったかが事細かに説明されており、初見の問題を解く力もつけることができました。

◆ 英語

1・2年生の頃に、シス単や英語表現（be シリーズ）をしっかりとやり込んでおくと、3年生になった時に非常に楽です。特にシス単はミニマルフレーズを覚えると、ただ意味がわかる単語ではなく、英作文や英会話で使える単語になります。ただ、ミニマルフレーズにとらわれて、他の意味や派生語を疎かにしないよう注意が必要です。また、多義語の章は小テストには出ませんが、一度は目を通しておいた方がいいと思います。

広島大学は英検の準1級をもっていると、共通テストの英語がみなし満点になり、とても有利です。私は高3の夏に準1級を取得しました。ただ、新たに覚えなければならない単語が多いこと、スピーキングがあることを考慮すると、高3での受験はそれなりにリスクを伴います。不安だったスピーキングの対策は高2の秋から始めました。スピーキング能力だけでなく、リスニング能力も飛躍的に伸びました。毎日ネイティブの発音を聞いたこと、先生の話聞きとれなければ会話が成立しないという緊張感が良かったのだと思います。

■ 尾道市立大学芸術文化学部日本文学科（創造表現コース：美術部）

◆ 国語

現代文：文章構成やレトリック（しかし、つまり、したがって等）に注意して読む練習をします。選択肢と本文を比べて間違っている所には線を引きます。自分の好きな本でもいいので文章を読む習慣をつくりたい。わからない漢字の読みや慣用句に出会ったらすぐに辞書を引く習慣をつけます。

古典：語句や句形は確実に覚える。語源やその言葉の成り立ち、当てられている漢字などを一緒に確認すると覚えやすくなります。文章を読む際には、主語、指示語、敬意の方向（敬語の種類）、文脈などを根拠にして、どの登場人物の言動なのか半断してマークする。国語は全体を通して問題文を根拠にして解答を選ぶことです。

◆ 数学

数学は特に苦手だったので先生の板書は必ずすべてを書き写し、その上で自分が解く行程で考えたこと、解法を見つけるヒントなどを書きました。とにかく数学が苦手な私が後で見てもわかるようなノートづくりを心がけました。3年になると演習がほとんどになるので、1・2年の内容を隅々まで学んでおくべきだったなと痛感しました。また、解法を複数考えたり学ぶなど、一つの問題について多角的に捉える力がつく学習をするのが良いと思います。

◆ 英語

リーディング：私は集中力が高いのは最初の方なので、第5・6問の長文から解くようになっていました。設問（特に並びかえ）には先に目を通しておき、不安な時は選択肢の和訳を書いてから本文を読んでいました。問題を解いたら必ず知らなかった単語に線を引いて辞書等で意味を調べます。選択肢の根拠になるような文章には線を引いておくことも大事だと思います。

リスニング：not A but also Bなどの熟語やつなげると音が変わる（get up）文は注意して聞いていました。また、普段から英語を聴くようになっていました。（American's Got Talent の YouTube をよく聴いていた）週課題のリスニングはきちんとやった方が良いです。「継続は力なり」一番実感できる科目だと思います。

終わりに

今回で、72回生の「合格者体験記」の紹介は終わりです。72回生の「合格者体験記」を含めた冊子は、7月中旬に発行予定です。
（文責：進路指導部 池本 邦彦）